

第43回 医療情報学連合大会 第24回 医療情報学会学術大会

ランチョンセミナー3 (インターシステムズジャパン株式会社)



すべてのデータを利用する — 医療情報の利活用のためのアーキテクチャと連携基盤
藤田医科大学におけるデータ2次利用連携基盤について

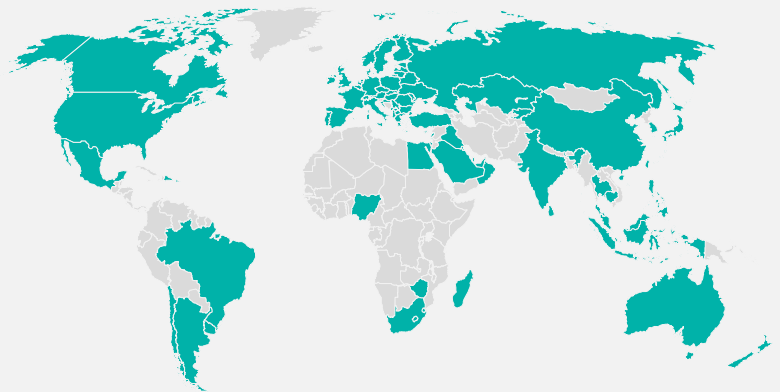
座長：山野辺 裕二 / 福岡輝栄会病院 医療情報部 部長

演者：山田 英雄 / 学校法人藤田学園 デジタル戦略部 副部長

2023年11月23日
インターシステムズジャパン株式会社
ヘルスケア営業部 紺木 孝之



1



1978年設立
ソフトウェア会社



従業員：2,000名以上
パートナー：1,600社以上

国内での販売/サポート



2

2



- ✓ データベース (Relational, Object, Key Value, Document) 機能
- ✓ システム間連携(連携I/F)開発機能
- ✓ HL7 FHIRに対応する機能

他にも様々な機能が搭載されています

3

3



オンプレでもクラウドでも動作します

AWS

Azure

GCP

施設内

4

4



クリニックから大学病院まで
施設の規模に関わらず
ご利用いただいております



5

5

IRIS for Health や Cache' を活用した 日本のパートナー様の製品(アプリケーション)

病院向け電子カルテシステム	臨床検査システム	服薬指導システム
クリニック向け電子カルテシステム	バイオバンク支援システム	リハビリシステム
DWH	アラートシステム	患者ナビゲーションシステム
統合DWH	ME機器管理システム	医薬品在庫管理システム
医事会計システム	健診システム	薬局向け棚卸システム
医療情報統合ビューア	不妊治療管理システム	輸血管理システム
地域医療連携システム	ISO15189管理支援システム	レポート未読管理システム
		など



6

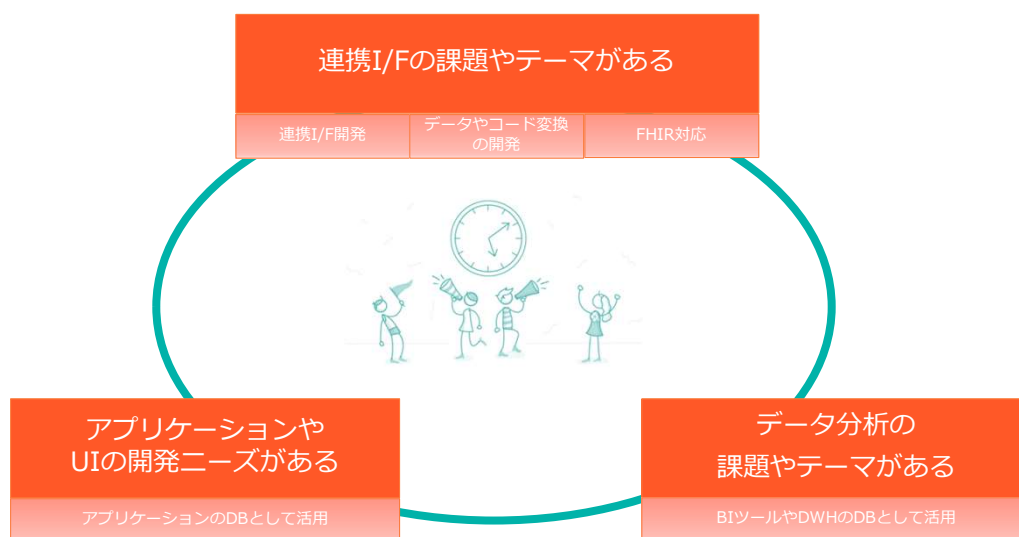


院内や複数施設の
データプラットフォーム
 としてご利用いただくケースが
 増えてきています

7

7

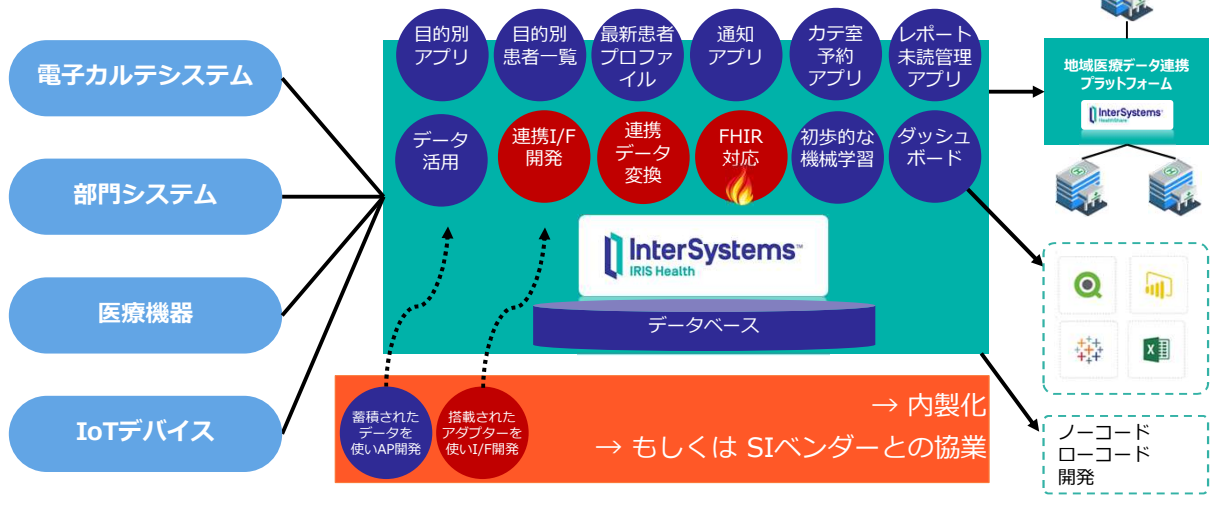
どういう時に**データプラットフォーム**として
 IRIS for Healthを活用するの？



8

8

つなぐ・ためる・活用する・再利用する



Thank you

